

未利用魚の活用による新水産業創出

(予算区分：県単 研究期間：平成 24～26 年度)

担当：水産技術研究所 開発加工科・資源海洋科・普及総括班
リーダー 開発加工科 高木 毅

【研究の背景とねらい】

世界的な水産物の需要の増大により、今後、海外からの水産物の調達は困難になっていくと推察されます。また、水産物取扱量の減少による影響は加工業のみならず広範囲に及び、地域経済の衰退を招く恐れがあります。一方、県内には、未利用または利用率の低い水産資源が潜在的に存在しています。本研究では、これらを対象とする新たな漁業を興し、新たな利用方法を開発することにより、水揚げの増大と加工業の振興を図ることを目的としています。あわせて、水産物の県内自給率を上げ、6次産業化の導入などにより産地活力を高めることも目的としています。

【研究の内容】

本県に存在する未利用魚(ハダカイワシ類・カタクチイワシ)の活用技術を総合的に研究します。

新たにハダカイワシ漁業を興すために必要な情報を獲得するための資源調査を行い、効率的で持続可能な新しい漁業のあり方を示します。

漁業が成立する需要を創出するため、大量に漁獲が見込まれるハダカイワシ・カタクチイワシの加工利用技術を開発します。

現在、混獲魚として漁獲されているハダカイワシを対象に加工現場に合わせた一次処理技術を開発し、6次産業化により加工品・地元グルメとして商品化することで消費者に馴染みのないハダカイワシの普及を図ります。

プロジェクトチーム

構成機関： 水産振興課・水産資源課・マーケティング推進課・ 水産技術研究所
静岡県漁業協同組合連合会・焼津鯉節水産加工業協同組合
研究主担当：水産技術研究所 開発加工科・資源海洋科・普及総括班
開発加工科長 高木 毅



ハダカイワシ



カタクチイワシ

【年次計画】

課 題	H24	H25	H26
1. 資源調査	漁獲対象・分布調査		専獲手段開発
2. 利用技術開発	成分調査	食品素材化技術開発	品質向上技術開発
3. 6次産業化	6次化産品開発・販売支援		

(作成 平成 24 年 4 月 1 日)